

ITスキル30分診断

日経BP社

経済産業省認定
「ITスキル標準 (ITSS)」準拠

ITSS-DS[®]

ITスキル診断システム IT Skill Standard Diagnostic System

気づいてますか？
自社のスキルの
強みと弱み。

運営 **iSRF** ITスキル研究フォーラム システム提供 **THE NET** 株式会社 ザ・ネット

「ITSS-DS」は経済産業省認定「ITスキル標準 (ITSS)」に準拠したITスキルの診断システムです。
ITスキル研究フォーラム (iSRF) は日経BP社、ザ・ネット、日経BPマーケティングが設立した任意団体です。

組込みエンジニアには

ETSS-DSTM

組込みスキル診断システム

導入企業に聞く

「当社の目的と活用方法」

【NECネクサソリューションズ】

スペシャリストを育成するための リソースマップづくりに活用

当社は2001年にNECグループ企業の5社の事業統合により設立された、アウトソーシングサービスやSIサービスを多元的に組み合わせて提供するサービスインテグレータである。当社でも他Sier同様、プロジェクト・マネジャーが不足しており、その育成に積極的に取り組んできた。しかし今後、ますます競争が激しくなるIT業界で生き残るためにも、他社との差別化が図れる技術優位性を確立することが重要である。そこで現在はスペシャリストの育成に注力している。



NECネクサソリューションズ
人材開発部
グループマネジャー
兼中期経営基盤改革プロジェクト
事務局長

中島英幸氏

当社のエンジニアはどういうレベルにいるのか、またどんな技術に長けた人材がどのくらいいるのか、という人的リソースの把握ができるのではと考え、「ITSS-DS」に参加した。

2005年、2006年と2回、スペシャリスト型キャリアのエンジニアに診断を実施。その結果、当社の人的リソースが明らかになり、経営側にとって、エンジニアの育成や採用の具体策を立てるためのよい資料になっている。

エンジニアにとっても、「ITSS-DS」はよい効果を与えている。診断結果は処遇にも反映されるので、スキル習得のモチベーションアップにもなるからだ。もちろん、「ITSS-DS」にも限界がある。それはエンジニア個人の主観によって判断されるという点。それを差し引いても、スキル診断を行うことによって、事業戦略にあわせた人材育成計画が立てやすくなることは間違いない。

当面はスペシャリスト型のみが予定だが、将来的にはPM型にも実施し、全社最適の人材活用に役立てていきたい。

【コガソフトウェア】

客観的に個々の欠点が見えるため ヒューマンスキルの育成に役立つ

2000年3月に2名で創業して以来、当社は全期黒字決算をしている会社である。現在の従業員数は101名。Javaに特化した業務用システムや通信システムの開発を行っている。エンドユーザーは大手企業で、業界内でも技術力があると評価されている。

当社の給与はSEの能力に合わせて正當に評価するため、取得する資格と数によって決めている。管理職に就くためには、高度情報処理資格を取得することと規定しているぐらいだ。この評価制度は、創業当時から行っており、妥当性も高い。

しかし会社の規模が大きくなるに伴い、チームでの作業も増え、リーダーシップを発揮する人材も必要になってきた。リーダーシップやコミュニケーション能力、やる気というヒューマン系のスキルを数値化するのは難しい。これらをなんとか定量化できないか検討していたときに出会ったのが、日本パーソナルコンピュータ協会（JPSA）のITスキル標準の活用モデル企業の公募だった。そしてそのモデル企業に選ばれ、

「ITSS-DS」に参加した。全従業員に診断を実施。その結果から個々の欠点に分かるなど、客観的な人材把握が可能になった。コミュニケーションシップやリーダーシップに欠けていることが分かり、昨年度は話し言葉教育を実施した。今年の診断結果では、コミュニケーション能力のアップが認められた。

このように「ITSS-DS」は、企業力をアップする方向性を示唆してくれる。当社のような小さなSI企業でも、大企業になれる方向性を示してくれるツールだと考えている。



コガソフトウェア
代表取締役社長

古賀詳二氏